



松葉 晴彦 議員

荘川町に

小水力発電所

ほぼ確定!!

小水力発電所の可能性について

【問】 荘川町中央用水小水力発電の可能性は。

【答】 県内33ヶ所の候補地の中から先般有力用水として5ヶ所の内のひとつに選定された。

【問】 工事の見通しは。

【答】 本年度は概略設計、25年度基本設計、26年度実施設計、27年度工事着手と思われる。

【問】 水利権の問題は。

【答】 発電施設は用水路の最終地点に設置するの
で問題はない。



荘川町にある「そばの里」の五連水車

高山市の道の駅8ヶ所の経営状態について

【問】 経営の実態について把握しているか。

【答】 21年度と比較すると、利用者が平均8・8%の減少。売上額4・0%の減少となっており苦しい駅もある。

【問】 指定管理料の算定基準と現状は。

【答】 管理料は過去3年間の売上収入額を基準に算定している。災害等不測の事態により収益に大きな変動がある場合協議することになる。

【問】 今後の方向は。

【答】 各駅が消費者ニーズに合わせた魅力ある駅となるよう必要な指導、協力を行う。

ペット(犬、猫)等の飼育について

【問】 高山市の犬猫の飼育状況は。

【答】 犬は23年度末現在5377頭であるが猫は登録の義務がないことから把握できない。

【問】 捨てられたり飼育できなくなった犬猫の殺処分の実態は。

【答】 犬は6頭であるが猫については市町村ごとのデータは公表されていない(飛騨全体では猫76頭が殺処分)。

【問】 動物愛護の啓発をどの様にしているか。

【答】 狂犬病予防注射の際パンフを配布したり、ラジオや広報等で愛護とマナーの啓発に努めている。

飛騨牛のブランド化と振興について

【問】 長崎全共の肉牛の部で最終選考に入らなかった牛の評価は。

【答】 代表牛に入らなかった牛は15戸、81頭がいる。11月29日には、この牛を集めた枝肉の共進会を開催する。



村瀬 祐治 議員

防災ラジオの全戸配布は?

防災ラジオ普及

【問】 市内の普及率は。

【答】 今年8月現在で加入契約では14%、4,553台。

【問】 地域で加入率荘川地域64%、高山地域10%など違いがあるが。

【答】 地域での防災意識の差に起因していると考えられる。また、町内によっては全戸配布して町内会費の中でまとめて支払う町内もある。

【問】 無償貸与は介護認定者を有する家庭にしているが、「災害弱者」へ無償貸与の考えは。

【答】 要援護者台帳の整備に伴い貸与を検討する。

【問】 平成25年3月に100円の助成金が終了するが、4月以降の助成金はどうなるのか。



【答】 助成期間の延長を含め検討している。

【問】 毎月300円のリース契約の他に現金購入もある。ラジオ本体価格は幾らか。

【答】 本体の仕入れ価格は8000~9000円と聞いている。

【問】 今後の普及への施策については。

【答】 町内会、自主防災組織など通じて、防災意識の高揚を図るとともに、重点的にPRと周知を行うことで普及率を高めていきたい。

奥飛騨温泉郷簡易水道建設工事

※(工事内容) 平成23~24年度にまたがる簡易水道工事で総額約4億円)

【問】 平成23年度浄水場の下部工事において、補強鉄筋152本が不足していることが発覚した経緯について。

【答】 前年度工事において補強鉄筋が不足していることが今年度8月見つかったため、今年度工事を止めている。

【問】 工事監督は、市が行っているが、何故指摘できなかったのか。

【答】 監督基準に基づいて監督業務を行っている。請負業者から不明な事項について協議されなかったのが主な原因である。

【問】 完成検査も市が行っているが、適切な検査であったのか。

【答】 高山市検査要領に基づいて無作為抽出で検査を行った。検査は適正である。